

大仙公園お勧めの桜ご紹介

⑤ヨサノアキコ / 与謝野品子



堺市が大仙公園で育苗しての新品種の桜が、2018年(公財)日本花の会により「与謝野品子」として品種認定された。与謝野品子は生前、桜をこよなく愛し、桜を詠った短歌も多数残されている。かくが濃紅色なことも、情熱的な女性歌人のイメージにピッタリ。

ダイセンシロ / 大仙白



大仙公園生まれの桜。2022年に日本桜の会の田中秀明氏により発見されたサクラ。純白の枝垂れ桜は珍しい。ダイセンシロは、大仙公園に原木がある桜で、佐藤藤右衛門が京都市八坂神社の祇園枝垂れの種から育成したといわれる個体。

⑳チシマザクラ / 千島桜



千島列島から根室に群生している桜。北海道では5月中旬に咲き、日本で一番遅く咲く桜と言われる。本州では育たないとされていたが、その桜が大仙公園で育っている。ここ大仙公園では暑さを凌げる環境をつくり、根は腐らないように工夫をして、見事に植樹に成功した。

桜は日本人を魅了する・・・

私たちが目にする桜の大半は「ソメイヨシノ」という品種です。このソメイヨシノは、日本中にありますが実はクローン個体です。ソメイヨシノは江戸時代末期にオオシマザクラとエドヒガンという2種類の桜を交配させることで生まれました。明治時代以降ソメイヨシノはそのすぐれた形質を残すために、接ぎ木によって全国に植えられました。接ぎ木とは同じ遺伝子を持つ個体を複製すること。つまりクローンを作ることで全国に広がっていったのです。日本ではヤマザクラ、オオヤマザクラなど11種の野生種と、これらから育成された栽培品種が300種以上もあると言われています。桜餅の葉はオオシマザクラの葉、桜茶はカンザンという桜の蕾です。桜一本一本に、それぞれの物語があります。大仙公園の桜を見ながら新しい事実、知られざる由来を紐といてみませんか。最後に、このリーフレットを制作にご協力いただいたD・S・P(大仙公園・桜プロジェクト)の皆さまに感謝申し上げます。



保存版 2024年1月

大仙公園 サクラマップ



㉑カスミザクラ / 霞桜
遠くから見た様子が霞のように見えるので名付けられた。花柄に短い毛が生えているために、ケヤマザクラとも呼ばれる。

㉒ジュウガツザクラ / 十月桜
名前どおり10月頃から咲く桜。春にはひとまわり大きな八重の花を咲かせる。

㉓アーコレード / Accolade
英国産の栽培品種。日本に上陸してから、日本の気候が気に入ったのか二季咲きの桜になった。

㉔コブクザクラ / 子福桜
花一輪につき2~3個のサクランボがなるという特性をもつ。これを子宝に恵まれるとして名付けられた。

㉕オオサカフユザクラ / 大阪冬桜
秋は10月頃、春は3月頃に咲く。花は白い八重だが、日が経つにつれ少しづつ赤くなっていく。

支那実桜のさくらんぼ
別名・暖地桜桃ともいう。暖かい地域でも実がなる。自家結実性があり1本でも実が付く。果実は小粒だが、毎年鈴なりに実が付く。(桜は②参照)

西洋実桜のさくらんぼ
果物屋さんの店頭に並ぶさくらんぼは、西洋実桜の果実である。(佐藤錦、ナポレオン、紅さやか) (桜は③参照)

子福桜のさくらんぼ
雌しべが2本以上あるので、さくらんぼは一つの柄に2個以上が着く。実がハート形になり、可愛い。(桜は④参照)